



令和7年度 学校だより

天王丘



令和7年9月5日(金)

第12号

観音寺市立栞田小学校
発行

長
子
配
付

心に響く芸術との出会い

～神奈川フィルハーモニー管弦楽団コンサート～

9月4日(木)、本校の体育館にて、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の皆様によるコンサートが開催されました。これは「文化芸術による子供の育成事業」の一環として実施されたもので、子どもたちにとってまさに忘れられない、心に刻まれるひとときとなりました。

当日は台風の影響もあり、気温がやや下がった中での開催。演奏が始まると、暑ささえも吹き飛ばすほどの迫力と美しさに包まれました。オープニングのビゼー作曲「カルメン」の演奏から、子どもたちは目を輝かせ、その音の響きに心を奪われました。



楽器紹介では、一つひとつの音色のちがいに耳を傾け、全校児童が参加したボディーパーカッションでは、体育館全体がリズムに満ち、子どもたちとオーケストラが一体となる瞬間が生まれました。



合唱曲「ビリーブ」を、オーケストラの伴奏にのせて、全校生が心を込めて歌いました。振り付きで体全体を使って表現する姿は、音楽と心が一つになった証であり、子どもたちの純粋な歌声は大きな感動を呼びました。まさに、子どもの心に残る芸術体験となりました。



そしてコンサートの締めくくりには、栞田小学校の校歌が演奏されました。子どもたちは迫力あるオーケストラの生演奏に合わせ、自分たちの校歌を歌い上げました。その瞬間、学校と音楽が一体となり、会場にいる全員が胸を熱くする特別な時間となりました。この演奏は録音され、後日CDとして学校に届けられる予定です。子どもたちと地域にとって、これ以上ない大切な財産となることでしょう。



このコンサートの実現には、60名を超えるスタッフが関わってくださいました。演奏者だけでなく、楽器や機材の運搬・設置にあたる方々、バス3台と大型トラックを使っでの運搬など、舞台の背後には多くの支えがありました。そして学校内でも、6年生や先生方が準備や後片付けに力を合わせ、特に教頭先生は、当日までの運営、サーキュレーターの設定など暑さ対策にも心を配ってくださいました。



子どもたちが安心して芸術を楽しむよう、数え切れない陰の努力が積み重ねられていたのです。

音楽や芸術にふれる体験は、子どもたちの心を豊かにし、生きる力の根っことなります。この日の感動は、きっと子どもたちの心に深く残り、未来へとつながる大切な糧となるはずです。保護者や地域の皆様にも、この喜びをともに分かち合っていたいただきたいと思います。

児童会によるお礼の言葉